

中部方面混成団

副団長・第49普通科連隊長着任



副団長
1等陸佐 佐藤 正典
福島県出身 防大29期



第49普通科連隊長
1等陸佐 茅野 剛也
兵庫県出身 防大34期

経歴
 第三〇普通科連隊 幹部学校
 第十四普通科連隊 中部方面総監部防衛部
 第五次ゴラン高原輸送隊長 陸上幕僚監部防衛部
 陸上幕僚監部装備部 研究本部
 東北方面総監部防衛部 幹部学校
 陸上幕僚監部付 (総務省出向)
 第三六普通科連隊長 三重地方協力本部長
 西方指揮所訓練支援隊長 幹部学校教官

(新発田) (目黒) (金沢) (伊丹) (ゴラン) (市ヶ谷) (市ヶ谷) (朝霞) (仙台) (目黒)

経歴
 第三五普通科連隊 第一一六教育大隊
 第三五普通科連隊 第十師団司令部第三部
 中部方面総監部総務部 富士学校
 西部方面普通科連隊 第十師団司令部第一部
 陸上幕僚監部防衛部 陸上幕僚監部運用・情報部
 富士学校普通科部 第三九普通科連隊
 ハイチ派遣国際救援隊 中部方面総監部人事部
 北部方面総監部人事部

(守山) (久居) (守山) (守山) (伊丹) (富士) (相浦) (守山) (市ヶ谷) (市ヶ谷) (富士) (弘前) (ハイチ) (伊丹) (札幌)



MACB
QRコード

編集・発刊

中部方面混成団
本部広報室

Tel.077-523-0034

ちよつと一服

人が生活するにあたっては、様々な苦難に遭遇します。私自身、三〇年有余の自衛隊生活を振り返ってみますと、本当に様々な苦難があったと、そしてそれらをよく乗り越えることができたものと、自分の事ながら感心します。もちろん、それは自分のみで越えることができたのではなく、その時に出会った先輩、同僚、そして部下たちの支援や協力により乗り越えることができたもので、今考えても、本当に感謝の一念です。

困難や苦難は、会わないことが一番です。しかし、前述したとおり、実際には様々な困難や苦難に遭遇し、その時、人は辛くなります。現に私も辛い思いを何度もしています。

それでは、辛い時にどうすればいいのでしょうか？ 辛いことから逃げる、辛いことを考えないようにする。一般的には、ネガティブな方策によって、辛いことを解消するということがあると思います。しかし、ここで、一つ考えてみて下さい。辛いことを幸せに変えることができるものか。実はそれは漢字がヒントを与えてくれています。

そうです、「辛」という漢字の「なべぶた」に「一」を加えると「幸」という漢字になるのです。すなわち、苦難に遭遇し、「辛い」と感じた時には、そこから逃げて減らそうとするのではなく、苦難を受け入れて、前向きに何かの対策を加える。

それは沢山のことでなく、何か「一つ」前向きに加えることにより「幸せ」になれることを暗示してくれているのではないのでしょうか。

言葉でいうことは簡単です。でも実際に行くことは大変だと思えます。「致知」という月刊誌に「与えられたことは、どんな苦しい、意に沿わないことでもめげちゃいけない。焼け火箸を握りしめて離さない稽古をする」と、それが生きるということだ」という一節があります。私は、この一節が好きで、辛いときは思い出しながら、何とか乗り越えて来ました。

今回の「ちよつと一服」は、「ちよつと重い一服」になりましたが、皆さんが「幸せ」を少しでも多く感じられることを祈念し、筆を置きたいと思えます。

中部方面混成団長 一等陸佐 深田 尚則

第四十七普通科連隊



重迫撃砲中隊実射検閲



連隊観測所での目標地域の確認



射撃準備



弾薬装填準備



81ミリの迫撃砲夜間射撃

連隊は、平成二十七年九月二十四日から二十六日までの間、あいば野演習場において第三次連隊野営訓練(常備自衛官一四一名、即応予備自衛官四六名、支援部隊一二名)を実施した。本訓練では、重迫撃砲中隊実射検閲、81ミリの迫撃砲射撃、87式対戦車誘導弾射撃を行った。重迫撃砲中隊実射検閲においては、中隊長 一等陸尉古川哲也指揮の下「敵を意識せよ」「一生懸命」を合言葉に陣地地域に速やかに進入し防衛準備を推進し、一連の状況下で重迫撃砲射撃を実施した。このほか、七月に射撃できなかった81ミリの迫撃砲射撃、また87式対戦車誘導弾射撃を一部即応予備自衛官とともに実施した。

即応予備自衛官は年間三十日と限られた中で検閲、各射撃とも遺憾なく發揮しそれぞれの任務を完遂した。

第13旅団 補助担架員集合訓練に参加

連隊は、平成二十七年八月二十四日から九月十八日までの間、第十三旅団が実施する補助担架員集合教育に第三中隊橋本二曹と第二中隊柏田三曹の二名が参加した。本訓練は、海田市駐屯地において、心肺蘇生法、三角巾副子固定法、戦闘衛生及び救急車・ヘリへの搭載・卸下等基礎事項を、また原村演習場において総合訓練が実施された。総合訓練では、学生長でもある橋本二曹が担架班班長として、攻撃戦闘時での一連の状況下で積極果敢に負傷隊員を救助し、所望の成果を収めた。



担架班班長として負傷隊員を救助する橋本2曹

装備品展示支援 (福山市) ふれ愛!



バイク展示

平成二十七年七月十一日、福山市のハッピータウン天満屋の野外展示場において広島地方協力実施福山地域事務所がする装備品展示、オートバイ一両、軽装甲機動車(LAV)を支援した。

併せて、会場では、自衛隊の活動写真や携行食も展示され見学者の関心を集め、「自衛隊の活動の大変さを知る事ができてよかった」と感想等があり所期の支援を達成することができた。



LAV展示

第四陸曹教育隊



四百五十三名が教育に参加

隊炊事教育

中級陸曹集合教育



九期中曹



十期中曹



十一期中曹



十二期中曹

第四陸曹教育隊（隊長 中山一陸佐）は、平成二十六年より教育を担当する事となった中級陸曹集合教育（中曹）を今年度も、六月二十八日から十月十三日まで、計四ヶ月実施した。

九期〜十二期中曹では中部方面隊に所属する新進気鋭の中級陸曹達が、今年の夏も猛暑の中、大津駐屯地に集まり、年令・職種・性別に関わらず、服務・防衛教養・戦術等の座学、戦闘訓練、各種指導法の教育を受けた。

隊員達は開始式にて第四陸曹教育隊長が式辞で述べられた「俺を見よ、俺に続けというリーダーシップを発揮できるがごとく自ら鍛えよ」の言葉通り、課業外の体力錬成や膨大な課目の事前課題をこなし、最後は演習場にて一夜二日の総合訓練に参加した。

総合訓練においては、戦闘職種・戦術職種の隊員はいきいきと、後方職種の隊員は候補生時代を思い起こしながら、徒步行進から攻撃までの一連の行動を実施し訓練を終了した。

隊員達は終了後の武器等の整備、部屋等の清掃を実施し、又最後に宴会にて教育の思い出を語り、再会を誓い合い、それぞれの部隊へと帰隊していった。

隊は、九月十四日（火）駐屯地応急対処訓練に合わせ炊事教育を実施した。

隊には、最新の炊事車（野外炊具一号（二十二改））が装備されているが、旧型（手動式）しか知らない隊員や炊事車そのものを知らない隊員がいるため、災害発生時等においても全員が使用できるよう普及に努めた。



炊事教育

第一〇九教育大隊

予備自衛官等訓練開始

第一〇九教育大隊（大隊長 佐伯二陸佐）は、七月十八日から平成二十七年次予備自衛官招集訓練（約一七〇名）及び予備自衛官補招集教育訓練（約一四二〇名）の担任を開始した。この訓練に携わる各中隊の基幹隊員は新入隊員教育で培った経験を活かし、厳しくも懇切丁寧な愛情を持った指導で隊員に接し、体調管理面等も十分に留意しながら招集訓練を進めている。

これからも大隊は、活気に溢れつつ、緊張感のある教育訓練を目指し、熱意と信念をもって、教育訓練に取り組む所存である。



基本教練の指導を受ける予備自衛官補



戦闘訓練を実施する予備自衛官補



予備自衛官補訓練開始式

平成二十七年次

大隊持続走競技会実施

大隊は九月五日に、平成二十七年次持続走競技会を実施した。隊員は任務達成に必要な体力の向上に前向きに日頃から取り組んでおり、今競技会では、その成果を遺憾なく発揮していた。

優勝 第三一六共通教育中隊
準優勝 第三一五共通教育中隊

今後、更なる体力の向上に努めるとともに、今競技会での成果を発揮して、今年度の団持続走競技会で優勝旗奪還を狙う。



個人の部 優勝 尾崎3曹



日頃の練成成果を最大限に発揮しめざせ大隊優勝旗！

第一〇教育大隊



団総合隊務視察

第一〇教育大隊（大隊長 増田二陸佐）は、九月十五日から十八日までの間、混成団本部が実施する総合隊務視察を受察した。

情報管理・物品管理検査の受検、人事、教育訓練等の業務に関する指導を受けとともに、状況報告、隊内巡視により隊務の状況を確認して頂いた。また懇談においては、団長、団最先任上級曹長に隊員の声を直接お聞き頂

いた。各種検査の指摘事項等を資とし、団長要望事項「凡事徹底」の意識を持って、更に合規適正かつ創意ある隊務の運営に努めていく。



隊内巡視



情報管理検査



団最先任上級曹長との懇談



物品管理検査



所見開陳



状況報告

九月二十四日から二十八日までの間、予備自衛官（技能）招集訓練を第三三三共通教育中隊が担任して実施した。予備自衛官（技能）十六名は、体力検査、射撃検定、職種訓練等を実施し、知識と技能の維持向上に努めた。また二十五日には、団長から訓話を頂き、予備自衛官（技能）は、真剣に耳を傾けていた。

予備自衛官（技能）招集訓練



団長訓話



職種訓練（通信）



感謝状受賞

平成二十七年九月十二日、第一〇教育大隊教友会（OB主体の後援会的組織）の名誉顧問竹本隆好氏が、中部方面総監感謝状を受賞されました。教友会の会長等として、長年にわたり隊員の士気高揚に大きな貢献をされた功績が認められたものであり、また、教友会からの初の受賞を大変嬉しく思います。



竹本隆好氏



年末もちつき行事における竹本氏